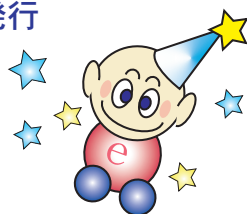


# エコちゃんとズープアップ かんきょう旅行



台風一過の清涼しい空が非常に  
厳しい熱帯が続いて居ります。  
毎日良く水分を摂取して、無理  
をせず、健康な夏を送りましょ  
う。省エネと云っても現実可成り  
厳しい夏です。後一月頑張れば、  
涼風の恵みに癒されるでしょ  
うか。



相愛会環境対策編集部

平成18年8月11日発行 第69号

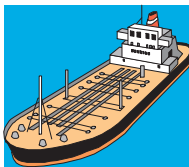
《東京第一教区》<http://homepage3.nifty.com/souaikai-tokyo/>

《現代は親子の会話が大切な時代。そして次に大切な事は親子で環境を語る事では無いでしょうか。》

## エコちゃんの《かんきょうガイド旅行/全国へ、世界へ!!》

### 《エネ》

「今回は非常に難しい問題です。」  
「…。」



「政権の“左傾化”が進む南米で、懸念される石油・天然ガスの国有化が進み始めています。ベネズエラに続き、ボリビアのモラレス政権が今月、南米二位の埋蔵量を誇る天然ガスの国有化を宣言。決選投票を六月に控えたペルー大統領選でも、左派候補が資源管理を強く訴えており、国有化は広がりそうだ。

資源国有化の動きが近隣で広がると、南米依存度の高い欧米に動揺が広がり、中国が南米への接近を進めそうだ。

モラレス大統領の発表は、

- 1、天然ガス事業の国有化
- 2、外国資本の施設  
製品の国有移管
- 3、国有化交渉に合  
意しない外国資本排除。



同国では近隣諸国他、英、仏、スペインのエネルギー企業が操業中だが、国内の生産・輸送施設には武装兵士が進駐した。

事態を受け南米諸国は、政府間の個別交渉で価格を定めることで合意。周辺国の容認を受けて、ベネズエラ大統領は「歴史的な決断だった」と評価した。ここに来て、世界的なエネルギーの高騰が、国有化に拍車をかけた様です。

「中国は、昨年からはベネズエラの石油の輸入開始。また、ボリビアにも軍事交流を含め急接近、エネルギー開発に手を広げているそうです。」

### 《エネ》

「儂が報告しよう。」  
「中国の張国宝副主任が7月下旬、東シナ海ガス田群で最大規模の「春暁」（日本名・白樺）の海上指揮本部視察し「すでに全面的な開発・生産段階に入った」と述べた。

中国側はこれまでに供給用海底パイプラインの敷設などを終え、「正式な生産開始の準備が整った」と強調。

だが、中国政府高官の現地視察は、小泉純一郎首相らの靖国神社参拝問題と絡め日本側をけん制する狙の様です。

日中両国政府は高官協議を続けているが、中国側が生産を始めたら、政府間協議は困難と指摘。

春暁ガス田は排他的経済水域（EEZ）に近過ぎると主張し、開発中止とデータ提供を要求している。対し中国は「中止を前提にした議論は受け入れられない」と拒否。

「環境問題、エネルギー問題、可成りきな臭く成って来ましたね。」  
「中国は6日までに、中国国家発展改革委員会の張副主任が東

明るく 楽しく 力強く  
相愛会東京第一教区  
<http://souaikai-tokyo1.cocolog-nifty.com/sni/>

シナ海の日中中間線付近で中国が進める「白樺」（中国名・春暁）ガス田施設を視察したとのニュースをウェブサイトから削除した。

視察のニュースが掲載され、日本政府が中国側に事実確認を求めたため、サイトからの削除で事態の沈静化を図る狙ったらしいです。」

「日本を含め自由主義経済国側にとって非常にエネルギーも、環境も管理し難い時代になって

愛国心は、郷土愛は地域を美化する事から!!!  
**地域清掃を始めませんか!**

<http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.html>  
**教育110番**  
百戦錬磨! 鎌先生のサイト!

来ましたね。」

「後進国→国内の経済格差→左派勢力の拡大→先進国に対する反発の構図ですね。」



「しかし、それらの国々が天然資源を確保して居る現実がある。」

### 《環境》

「沿岸に桜を植樹「最上川夢の桜街道」で知られ、川をシンボルに活動を展開する「美しい山形・最上川フォーラム」が揺れている。

県が事務局業務の移管を要求、活動継続が危ぶまれる。同フォーラムは、行政や大学、県内4地銀や企業、NPO民間の4者が、議論・協力する珍しい形態でスタート。

「最上川夢の桜街道プラン」が注目を集めた。

フォーラムは、県と新たな関係を模索することを突き付けられた。桜の植樹という息の長い維持管理が必要な事業で「県民も役人も学者も同じ立場で議論できる」というスタイルを打ち出したフォーラム。

100年の大計をともに進めておきながら、わずか5年で「公助から自助へ」県は「真のパートナー」として、フォーラムが継続できるような対応をともに考えるべきだと云う意見も多いと云う事です。

(今回は環境、エネルギー問題が意外な展開をして来た事で、ご報告いたしました。)

☆新コーナーをご紹介します。

《生長の家相愛会東京第一教区大会》  
<http://homepage2.nifty.com/6789/taikai.01..html>  
与える生活から世界平和へ.9/24.pm1:00

<http://homepage2.nifty.com/6789/kyo.01.html>  
父親教室  
お父さんがんばって!

<http://www.57.tok2.com/home/zao/dainihon.01.html>  
大日本史複製版  
日本一古い歴史書ダウンロード